

令和6年度活動報告

会員数	依頼会員 1,783人 協力会員 380人 両方会員 141人	合計 2,304人
-----	---------------------------------------	-----------

活動内容 BEST5

① 子どもの習い事等への預かり	340件
② 保育施設の保育開始前や保育終了後の預かり	332件
③ 保育施設までの送迎	319件
④ 買い物など外出の際の預かり	269件
⑤ 放課後児童くらぶ終了後の預かり	162件
総件数	1,966件

事務局よりおねがい

○伊丹市育児ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）事業のより一層の質向上のため、会員皆さまの利用状況や満足度等に関するアンケート調査を実施します。

右のQRコードよりご協力ください。



○親子で遊べる市内の子育て支援拠点（むくむくルームなど）でファミサポのお預かり希望の方は事務局までご連絡ください。各施設長さんへ事務局より相談して許可をいただいてからの活動となりますので、よろしくお願ひいたします。

報酬に対する課税について

※税法上の解釈及び確定申告等についての詳細は各自の勤務先及び国税庁のホームページ、税務署にて確認してください。

ファミリー・サポート・センターの援助活動で得た報酬額（おやつ代、食事代、交通費、おむつ代等の実費は除く）は、税法上「雑所得」となります。

雑所得（ファミサポの報酬額）と、給与所得（他のパート、アルバイト等で得た収入）の合計が年間（1月1日～12月31日）で48万円を超えると、課税対象になります。また、サラリーマンの方は、給与所得及び退職所得以外の雑所得を含めた金額の合計が年間20万円を超えると確定申告の対象となります。

会員

随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃいます。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介いただければありがたく思います。よろしくお願ひいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

〒664-0014 伊丹市広畠3丁目1番地

伊丹市立地域福祉総合センター1階（いたみいきいきプラザ）

TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで 休館日 日・祝日、年末年始

交通機関 伊丹市バス「三師団・交通局前」バス停下車すぐ



この印刷物は2,500部作成し、印刷経費は1部あたり21.67円です。

サブリーダーさんの紹介

令和7年度お世話になる4人のサブリーダーさんです。センター閉所時に緊急依頼が発生した時は、アドバイザーにかわり援助依頼を受け付けて調整したり、講座のお手伝いもしていただきます。とても心強い協力会員さんもあります。

人と人とのつながりを楽しみに、
子育ての応援をしま～す♡



育児 ファミリー サポート



育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。

便り

第57号

発行年月
令和7年6月

申込随時

第1回

必須講座

※少しの時間の預かりや送迎のできる方、子育ての応援をしませんか♡

心の発達とその問題

子どもの障がいの種類や特徴について

講師：市こども発達支援センター 職員

令和7年
7/2 水
時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ
3階

心の発達とその問題

障がいのある子どもとの関わり方について

講師：市こども発達支援センター 職員

令和7年
7/2 水
時間 11:10～12:40
場所 いたみいきいきプラザ
3階

子どもの世話

子どもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくりについて

講師：市母子保健課 保健師

令和7年
7/3 木
時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ
3階

保育の心

育児支援者としての心構えと親子との関わり方について

講師：市立中央保育所 副所長

令和7年
7/4 金
時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ
3階

子どもの栄養と食生活

子どもの栄養と食生活について

講師：市健康政策課 栄養士

令和7年
7/3 木
時間 11:10～12:40
場所 いたみいきいきプラザ
3階

子ども家庭庁より通知があり、乳幼児の緊急救命講習会（AED、心肺蘇生等）及び事故対策講習会について、援助活動を行うためには 5年に1回の受講が必須 となりました。

平成27年度～令和2年度に全受講された方は早急に受けていただきますようよろしくお願いいたします。

安全・事故

乳幼児の緊急救命講習会

講師：イタミライフキーパー 応急救手普及員

令和7年
7/5 土
時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ
3階

安全・事故

事故対策講習会

講師：NPO法人 C・キッズ・ネットワーク

令和7年
7/6 日
時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ
3階

子育て支援サービスを提供するために実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について

講師：育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

令和7年
7/6 日
時間 11:10～12:40
場所 いたみいきいきプラザ
3階

講座場所はいたみいきいきプラザ3階 会議室1、保育室は会議室2にて行います。

●各講座には定員がありますので、申込みは電話か窓口にて受付します。 ●参加費は無料 ●一時保育あり（1歳以上就学前まで）保育料（1人 300円 2人目以降 150円） ※問い合わせや申込みは事務局（072-772-4560）にご連絡ください。

ひあいさつ

伊丹市子育て支援センター長 伊丹市育児ファミリー・サポート・センター長 谷 泰史

皆様こんにちは。「育児ファミリーサポート便り第57号」をご覧いただきありがとうございます。私は、今年4月1日付人事異動におきまして、伊丹市子育て支援センター長兼育児ファミリー・サポート・センター長に着任いたしました谷泰史でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度ファミリー・サポート・センターでは、育児の援助を受けたい「依頼会員」と、育児を援助したい「協力会員」、その両方の「両方会員」合わせて約2,300人の会員様により、1,900件余りの活動を支援することができました。このことは、子育て中の家庭と援助する家庭とが繋がり、安心して子育てができる環境と地域づくりに寄与するものであると会員様には深く感謝申し上げます。

伊丹市が子育てしやすい自治体としてより成長していくためには、このファミリー・サポート事業の充実が不可欠であると考えておりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和6年度 講座の報告

必須講座～第2回～

24名の方に受講いただき、その内9名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

令和6年 1/30 (木)	《保育の心》 育児支援者としての心構えと親子との関わり方 について	講師：市立北保育所 副所長 平岡恵さん	令和6年 1/31 (金)	《子どもの世話》 子どもが快適に過ごすための必要なケアと環境 づくりについて	講師：市母子保健課 保健師 秋山沙也香さん
	保護者や子どもの関係作りに大切なポイント（①保護者には話を聴いて気持ちに寄り添うこと②子どもには子どもの視線の先を見て、子どもがしたい事や思っている事をわからうとする）を学びました。			子どもの事故を防ぐには、周りの大人が一步先を見て安全対策する必要性があることを学びました。乳幼児健診で10か月健診が医療機関委託から保健センターでの実施に変わったことも知りました。	
令和6年 1/31 (金)	《子どもの栄養と食生活》 子どもの栄養と食生活について	講師：市健康政策課 栄養士 池田典子さん	令和6年 2/1 (土)	《安全・事故》 乳幼児の緊急救命講習会	講師：イタミライフキーパー 応急救手普及員 宮崎涼二さん 吉川潔志さん
	食中毒の種類や予防法、食物アレルギーについてや子どもが食べない理由（かみにくい・おなかがすいてない・飲み込みにくい）とその対策方法を学びました。元気の基本は体内時計を整えることと知りました。			2つのグループに分かれて実際に人形（乳児・幼児・大人）と最新のAEDを使い心肺蘇生法や窒息した時の対処法を実習しました。質問も飛び交い、みなさん熱心に取り組っていました。	
令和6年 2/2 (日)	《安全・事故》 事故対策講習会	講師：NPO法人C・キッズ・ネットワーク 酒井富美子さん	令和6年 2/2 (日)	《子育て支援サービスを提供するために》 実際に活動を行うにあたって手順やルール、注意事項について	講師：育児ファミリー・サポート・センターアドバイザー
	実際に起こる子どもの事故を具体的に教えていただき対策法も学び、視野体験もしました。			前半は、ファミサポの制度や安心安全に活動していただくための注意点やお顔合わせの大切さなどを伝えました。後半は、様々な事例でファミサポを利用できるか？できないか？を話し合ってもらったり、料金も実際に計算していただきました。	
令和6年 2/3 (月)	《心の発達とその問題》 子どもの障がいの種類や特徴について	講師：市こども発達支援センター 山本佳那さん	令和6年 2/3 (月)	《心の発達とその問題》 障がいのある子どもの関わり方について	講師：市こども発達支援センター 山本佳那さん
	障がいの考え方や種類、制度について学び、伊丹市こども発達支援センター（あすばる）が日々取り組んでいることやわかりやすく子どもに伝える方法を症例別に具体的に学びました。			関わり方のポイント（①子どもができることを具体的にわかりやすく伝える②マイナス言葉（例：廊下を走らないで。）をプラス言葉（例：廊下は歩こうね。）に変えて伝える）をみんなで話し合いました。	

スキルアップ講座

令和6年
11/16
(土)

ちょっと気になる子の理解とサポート

講師 あそびとお話のデリバリー ドコデモ 榎本英樹さん

ちょっと気になる子の気持ちや困り具合などを聴いた後、隣の人と1本の鉛筆で無言で家の絵を描いたり、数字を繋げたりなどのワークを実際にを行い、言葉を使わずに行動することの大変さを実感しました。

具体的な困りごとが、どの種類の分野のカードになるかを考えるワークもありました。



令和6年
12/1
(日)

ファミリーあんしん防災講座

講師 イタミライフキーパー 防災士 宮崎涼二さん

地震や洪水など災害に対しての対策法や災害時の行動方法を教えていただきました。折り畳みヘルメットなどの様々な防災グッズをリュックの中から全部出して見せていただきました。

洪水の時は、あふれた水の中を避難するために長い傘を持って出て傘をささずにトントンと道路を探りながら避難することを学びました。



令和6年
12/3
(火)

子どもの症状別ケアと大人の健康管理

講師 市健康政策課 保健師 二條久美さん
市母子保健課 保健師 前田岬希さん

講座開催時、胃腸炎などの感染症が大流行していたので、急速感染症の仕組みや予防法もわかりやすく教えていただきました。簡単にできるストレッチを実際にやってみて、「からだが少し軽くなりました。」「背筋が伸びたみたい。」と感想が聞けました。



わいわい♡おしゃべり会

令和7年 2月9日(日)



今回の「わいわい♡おしゃべり会」は好きな飲み物を選んでお菓子をつまんでもらいながら開催しました。みなさんにファミサポを知ったきっかけをきいてみたところ様々でした。

その後も話は弾み、それぞれの援助活動を話していました。どの活動も依頼会員さんの子育て中の大変さや身内が近くにおられない状況などご理解ください親子を支えてもらえて、事務局はとても感動いたしました。